

## 平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	藤川功和	所 属	芸術文化学部日本文学科
学 位	博士（文学）	職 位	准教授
専門分野	日本中世文学		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	古典文学基礎演習・日本文学史Ⅲ（中世）・日本文学講読Ⅲ（中世）・日本文学講義Ⅰ（上代・中世）・中世文学専門演習a・中世文学専門演習b		
大学院	日本古典文学特論Ⅱ		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>（1）「寛元元年『河合社歌合』注釈と研究」（尾道大学中世文藝研究会編 『尾道大学日本文学論叢』別冊 2010年12月）</p>			
<p>（2）「『弘長百首』攷一九条基家詠を起点として一」（『国語と国文学』86巻2号、2009年2月）</p>			
<p>（3）「建長三年九月十三夜影供歌合再考」（『国文学攷』192193合併号 2007年3月）</p>			
<p>（4）「宝治元年『院御歌合』の西園寺実氏」（『国語と国文学』83巻6号 2006年6月）</p>			

(5) 『今中文庫目録』(広島大学図書館研究開発室編 2006年 広島大学出版会)

本年度を含む過去5年間の研究業績

(1) 「忠兼と光俊」単著 2011年12月 「尾道大学日本文学論叢」7号49-57

(2) 歌合の享受一面—尾道大学附属図書館収蔵『六百番歌合』の紹介をかねて— 単著 2011年12月 「尾道文学談話会会報」43-51

(3) 文永二年「八月十五夜歌合」注釈—「未出月」— 共著 2012月3月 「尾道大学芸術文化学部紀要」11号 9-37

(4) 〈場〉としての『河合社歌合』と藤原為家、『尾道大学日本文学論叢』、別冊、111-126、2010年

(5) 『春日若宮社歌合』の諸相、『國文學攷』、第204号、1-14、2009年

現在の研究テーマ(3つまで)

(1) 和歌

(2) 日記

(3) 紀行文

研究テーマの  
進捗状況

反御子左派による寛元四年『春日若宮社歌合』の注釈の一部を刊行できた。

学会、所属団体における活動

所属学会・所属団体 役職等

中世文学会・和歌文学会・和漢比較文学会・日記文学研究会・尾道大学日本文学会・広島大学国語国文学会